

Funehiki High School News

vol.205

船引高校文化祭「鵬翼祭」一般公開

11月1日（土）船引高校文化祭「鵬翼祭」の一般公開が行われました。生徒たちはこれまでの準備の成果を存分に発揮し、創意工夫を凝らした企画や、ステージ発表を披露することができました。ご来場いただいた皆様に心より感謝申し上げます。



令和7年度 夢を育む講演会を実施しました

今年は、クリエイティブディレクターの筋内道彦様を講師としてお招きし、夢を育む講演会を実施しました。筋内様は、ふたば未来学園や都路小学校などの校歌制作の実績があり、令和8年度開校の船引・小野統合校「あぶくま柏鵬高校」の校歌の作詞・作曲も快く引き受けてくださいました。今回その縁もあり、校歌制作のエピソードを交えながら、生徒たちの夢を育む内容の講演をいただきました。

講演ではまず、校歌制作のエピソードを披露していただきました。校歌は小学校では6年間、高校では3年間歌ってもらえること、校歌を通して皆が一つになることができること、船引高校と小野高校がうまくやれているのか色々な不安があると思うが、2つの個性がまじり合い、柏（かしわ）と鵬（おおとり）が一つになることで前向きに進むことができるとの願いを込めた、というエピソードをお話くださいました。エピソードに続いて、生徒達に向けたメッセージもいただきました。



令和7年度 職業講話を実施しました！

11月14日（金）、本校の1、2年生を対象に職業講話を実施しました。講師として株式会社ヨークベニマル 人事教育室 採用教育部副部長の畑山卓也様をお招きし「地域とともに生きるスーパー 〜ヨークベニマルから学ぶ“働く”意味〜」というタイトルで講演をいただきました。

講話では、“今、勉強している5教科の学習も社会に出てから役に立つこと”や、“高校生のうちから将来を見据えることの大切さ”についてお話しいただくとともに、地域密着型のヨークベニマルが実践しているSDGsの取り組み例についても紹介をいただきました。

生徒からは「“働く”意味と意義の違いを知ることができてよかった」という意見や「高校生活のなかで論理的に考える力と伝える力を身につけたい」といった感想が寄せられました。



家庭クラブ たむら支援学校との交流会を行いました。

12月4日（木）放課後、本校の福祉実習室を会場として、たむら支援学校の生徒6名と本校の家庭クラブ役員6名で、クリスマスオーナメントの制作を一緒に行いました。

制作の間には、お互いの趣味やクリスマスの過ごし方などを話題にして、それぞれの班で大いに盛り上がり、参加した皆さんにとって和気あいあいとした穏やかな楽しい時間となり、両校の交流がさらに深まりました。

この行事は福島県学術教育振興財団助成事業の一環として実施しています。



福島県立船引高等学校 Tel…0247-82-1511 Fax…0247-82-5233
HP…<https://funehiki-h.fcs.ed.jp> mail…funehiki-h@fcs.ed.jp



地域おこし協力隊奮闘記



「昆虫の聖地」の魅力発信

4月に地域おこし協力隊の任期満了を迎える大口宗将です。ムネリンと呼ばれて間もなく3年。ムシムシランドから「昆虫の聖地」田村市の魅力を世界に発信してきました。

2023年11月号の市政だよりから「昆虫先生ムネリンのたむら昆虫図鑑」を毎月連載させていただき、さまざまな経験をさせていただきました。昆虫と共に羽ばたく田村市！今後市内で昆虫採集している僕を見かけると嬉しいです。で、暖かく見守っていただければと思います。



3月に地域おこし協力隊の卒隊を迎える高橋秀です。3年間、市内の事業者・生産者の皆さまと連携し、田村市ならではの体験価値発信に取り組んできました。グリーン・ツーリズムの企画・運営やグリーンパークでの各種イベント、イベント列車など、多くの現場で貴重な経験を得ました。

これらの活動は、関係者の皆さまのご協力があったからこそ実現できたものです。卒隊後も田村市の発展を願い、関わり続けたいと考えていますので、どうぞよろしくお願いいたします。

田村市ならではの体験価値を形に

海を越えて 英語指導助手ペンリレー No. 151

雪の季節



マリア・ミクリディさん
アメリカ合衆国・ミシガン州出身
(田村市に来て1年目)

雪合戦、アイススケート、そり遊び、雪だるま作りは、ミシガン州で過ごした子ども時代の懐かしい思い出です。数十センチの雪が積もり、気温が氷点下になると「スノーデー」といって学校が休みになり、大雪を楽しむ一日になりました。何年かは友達とキャンプに出かけ、週末はそり遊びのほか、雪の中で長い散歩を楽しむました。中でも一番のお気に入り夜の散歩で、月明かりにきらめく雪を眺めることでした。そして、寒い日の終わりにはいつも温かいホットチョコレートにマシュマロをのせて締めくくりました。

日本での冬は初めてで、ミシガン州とは全く違います。ミシガン州では10月下旬には雪が降り始め、4月上旬まで溶けません。日本では12月まで雪が降らないことが多いです。ミシガン州ではどの建物でも暖房が常時稼働しているのが普通ですが、日本では暖房



設備が異なるため、実際よりもずっと寒く感じます。私は日本では重ね着をすることが多く、気温がそれほど低くなくても温かい飲み物を飲んで体を温めています。日本とミシガン州の冬は大きく異なりますが、日本の冬も独特の美しさがあります。

朝に山を見上げて、山頂に積もった雪を見るのが大好きです。気温が上がると冬の街歩きがずっと楽しくなりますし、雪が湿っているのが木々につくついて美しい景色を作り出します。新しい場所へ向かう途中、列車に座って雪を眺めるのは私のお気に入りの時間の過ごし方の一つです。今では、こたつに入って温かい紅茶がココアを飲むことで一日が終わります。冬はそれぞれに違いがありますが、どちらも美しい季節であることに感謝しています。どちらの場所でも、まだまだ雪合戦や雪だるま作りがたくさんできると思います。